

男子団体予選 13中で決勝トーナメント進出を決めた徳島市立の（左から）多喜、宇田、笹田、吉野、山脇＝仙台市のカメイアリーナ仙台（秋月悠撮影）



徳島市立男 決勝T進出

（三）道

（カメイアリーナ仙台）

【男子】団体予選（20射）徳島市立13中（多喜1中、宇田4中、笹田3中、吉野2中、山脇3中）

決勝トーナメント進出

【女子】団体予選（20射）高岡西9中（野中4中、吉田0中、大栗1中、滝口3中、小川1中）＝落選

練習の成果発揮

○：男子の徳島市立が予選13中で決勝トーナメント進出を決めた。落ちの山脇主将は「最低でも13中を目指して練習してきた。緊張する大きな舞台でその成果が出せた」と冷静に話した。

1射目は5人中、3人が的中させ、まずまずの滑り出しを見せた。好調だったのは中前の宇田。「落ち着いて弓を引けた」と振り返る。一本一本、深呼吸しながら無心で矢を放ち、皆中でチームに貢献した。予選を突破した32校の

うち、13中は20番目の成績。山脇主将は「決勝では最後まできっちり集中していきたい」と表情を引き締めた。